



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年3月14日

上場会社名 株式会社 帝国電機製作所
 コード番号 6333 URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 白石 邦記

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 村田 潔

TEL 0791-75-4160

四半期報告書提出予定日 平成31年3月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	16,147	4.7	1,409	18.8	1,576	15.3	602	47.9
30年3月期第3四半期	15,418	12.4	1,735	56.7	1,860	55.2	1,155	37.7

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 62,382百万円 (95.5%) 30年3月期第3四半期 1,395百万円 (550.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	30.47	
30年3月期第3四半期	57.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	34,151	24,415	71.3	1,231.33
30年3月期	33,006	24,816	74.9	1,252.18

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 24,334百万円 30年3月期 24,736百万円

「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、平成30年3月期については、遡及適用後の数値を記載しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		8.00		12.00	20.00
31年3月期		12.00			
31年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,760	4.7	1,850	19.6	2,060	12.0	830	44.5	42.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	20,408,138 株	30年3月期	20,400,138 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	645,583 株	30年3月期	645,538 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	19,759,148 株	30年3月期3Q	20,151,242 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済情勢について、わが国経済はインバウンド需要の回復や個人消費等の国内需要にけん引され、緩やかな回復が続いております。米国経済は良好な雇用所得環境から個人消費の拡大が続く等、堅調に推移しているものの、一部の企業では米中貿易摩擦による業績への影響が出始めております。欧州経済については、フランスの政策をめぐる混乱やBrexitに関する不確実性はあるものの、ユーロ圏全体としては引き続き回復基調にあります。一方、中国経済は米中貿易摩擦の影響等により減速傾向にあります。

上記のように、全体としては緩やかな回復傾向にありますが、通商問題の影響等により先行きの見通しには不透明感が強まっております。

このような状況の中で、当第3四半期連結累計期間において、主力のポンプ事業は、国内市場においては、設備更新に伴うメンテナンスサービス需要が堅調に推移しました。また海外市場においては、主に中国・東南アジア市場を中心に新規設備投資需要が拡大しました。その結果、ポンプ事業の売上高は増加いたしました。一方、電子部品事業の売上高は、当社子会社の受注減少及び人手不足による工場稼働率の低下により、減少いたしました。

これらの結果、グループ全体として売上高は161億47百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益は、中国子会社における人件費の増加に加え、中国の修理子会社の架空取引に伴う追加納付税額（源泉税、増値税）、及び過年度の追加納付税額に対する延滞税・加算税等、計約4億円を計上したため、14億9百万円（同18.8%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、中国の修理子会社における追加納付税額（企業所得税）、及び過年度の追加納付税額に対する延滞税・加算税、計5億52百万円を計上したため、6億2百万円（同47.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ポンプ事業)

ポンプ事業の売上高は、国内市場においては、メンテナンス関連、定量注入機器ポンプが堅調に推移し、全体として増加いたしました。中国市場においては、ケミカル機器モータポンプ、車両用モータポンプ等が堅調に推移し、全体として増加いたしました。また、米国市場では、冷凍機・空調機器モータポンプ、メンテナンス関連等が増加したものの、ケミカル機器モータポンプが減少したため、全体として減少いたしました。

その結果、売上高は144億8百万円（前年同期比6.7%増）、連結売上高に占める割合は89.2%となりました。一方、営業利益は、中国子会社及びその連結修理子会社3社の架空取引により発生した追加納付税額を計上したため、13億58百万円（同10.5%減）となりました。

(電子部品事業)

電子部品事業の売上高は13億25百万円（前年同期比15.0%減）、連結売上高に占める割合は8.2%となりました。

また、営業利益は、売上の減少及び粗利率の悪化等により18百万円の赤字（前年同期は1億45百万円の黒字）となりました。

(その他)

その他の売上高は、4億12百万円（前年同期比15.3%増）、連結売上高に占める割合は2.6%となりました。

また、営業利益は、販売費及び一般管理費の増加により、70百万円（同1.6%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は223億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億86百万円増加いたしました。これは主に仕掛品が4億24百万円、原材料及び貯蔵品が4億18百万円、製品が3億72百万円増加したことによるものであります。固定資産は117億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億41百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が3億29百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、341億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億45百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は80億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億63百万円増加いたしました。これは主にその他が9億15百万円増加したことによるものであります。固定負債は16億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、97億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億46百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は244億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億1百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が4億11百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.3%（前連結会計年度末は74.9%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月14日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成31年3月14日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,713,079	8,955,954
受取手形及び売掛金	7,457,847	7,420,544
製品	1,509,272	1,881,876
仕掛品	1,511,456	1,936,164
原材料及び貯蔵品	1,393,195	1,811,716
その他	395,311	601,946
貸倒引当金	△307,316	△248,843
流動資産合計	20,672,847	22,359,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,881,975	4,727,122
その他（純額）	3,991,981	4,120,987
有形固定資産合計	8,873,956	8,848,109
無形固定資産		
のれん	668,199	544,545
その他	350,267	288,012
無形固定資産合計	1,018,466	832,558
投資その他の資産	2,440,975	2,111,461
固定資産合計	12,333,399	11,792,129
資産合計	33,006,246	34,151,491
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,180,304	2,768,652
短期借入金	455,790	316,500
未払法人税等	936,171	1,325,184
製品保証引当金	20,606	31,232
賞与引当金	454,735	253,616
その他	2,459,247	3,374,867
流動負債合計	6,506,856	8,070,053
固定負債		
長期借入金	114,800	110,600
退職給付に係る負債	1,075,680	1,124,709
その他	492,396	430,766
固定負債合計	1,682,877	1,666,076
負債合計	8,189,733	9,736,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,118,118	3,123,490
資本剰余金	3,306,347	3,311,719
利益剰余金	17,841,370	17,969,228
自己株式	△809,696	△809,769
株主資本合計	23,456,140	23,594,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	705,332	294,190
為替換算調整勘定	632,056	488,148
退職給付に係る調整累計額	△57,266	△42,768
その他の包括利益累計額合計	1,280,122	739,570
非支配株主持分	80,250	81,121
純資産合計	24,816,513	24,415,360
負債純資産合計	33,006,246	34,151,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	15,418,408	16,147,351
売上原価	9,214,877	9,673,217
売上総利益	6,203,530	6,474,134
販売費及び一般管理費	4,467,643	5,064,180
営業利益	1,735,886	1,409,954
営業外収益		
受取利息	4,260	9,239
受取配当金	35,790	43,133
受取賃貸料	22,945	22,733
為替差益	72,244	53,913
太陽光売電収入	10,466	10,420
その他	36,834	54,678
営業外収益合計	182,541	194,119
営業外費用		
支払利息	33,297	13,346
太陽光売電原価	9,346	8,235
その他	15,694	6,267
営業外費用合計	58,338	27,849
経常利益	1,860,089	1,576,223
特別利益		
投資有価証券売却益	30,218	139,791
特別利益合計	30,218	139,791
税金等調整前四半期純利益	1,890,308	1,716,015
法人税等	746,243	1,110,095
四半期純利益	1,144,065	605,919
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,969	3,855
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,155,034	602,064

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	1,144,065	605,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	279,465	△411,142
為替換算調整勘定	△50,628	△146,892
退職給付に係る調整額	22,455	14,498
その他の包括利益合計	251,292	△543,536
四半期包括利益	1,395,357	62,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,404,975	61,511
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,617	871

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,500,157	1,560,146	15,060,303	358,104	15,418,408
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,500,157	1,560,146	15,060,303	358,104	15,418,408
セグメント利益	1,518,041	145,916	1,663,957	71,929	1,735,886

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,663,957
「その他」の区分の利益	71,929
四半期連結損益計算書の営業利益	1,735,886

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ポンプ事業」セグメントにおいて、平成29年4月12日付でHydrodyne(India) Pvt. Ltd. 社株式の51%を取得したことから、のれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては886百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,408,678	1,325,679	15,734,358	412,993	16,147,351
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,408,678	1,325,679	15,734,358	412,993	16,147,351
セグメント利益又は損失(△)	1,358,085	△18,922	1,339,163	70,790	1,409,954

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,339,163
「その他」の区分の利益	70,790
四半期連結損益計算書の営業利益	1,409,954

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	15,381,660	12.1
電子部品事業 (千円)	1,325,710	△15.0
報告セグメント計 (千円)	16,707,370	9.4
その他 (千円)	266,602	0.3
合計 (千円)	16,973,973	9.2

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
ポンプ事業	17,693,305	21.0	10,213,084	41.1
電子部品事業	1,280,132	△17.3	125,109	△15.0
報告セグメント計	18,973,438	17.3	10,338,193	40.0
その他	348,108	△12.0	50,191	△53.0
合計	19,321,546	16.6	10,388,385	38.7

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	14,408,678	6.7
電子部品事業 (千円)	1,325,679	△15.0
報告セグメント計 (千円)	15,734,358	4.5
その他 (千円)	412,993	15.3
合計 (千円)	16,147,351	4.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。